

一般社団法人 福山青年会議所

2021 年度 理事長所信

理事長予定者

宇田 貴美

まっすぐに

～笑顔溢れる未来へ～

はじめに

2020 年、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界はその姿を変えることとなりました。人と人の距離、社会との関わり方が変わり、そして人間の命がいかに儚いかを私たちは一様に感じたはずです。今回の事態から私たちはどのように生きるべきか、根本的に考える機会とするべきです。

私たち人間の意志が未来を創る。これはどんな時代であっても変わらない真理です。意志の力をどこに向け、どのような未来を創るのか、その羅針盤の一つが SDGs の掲げる持続可能な社会という考え方です。SDGs の掲げる 17 の開発目標を通して私たちの住み暮らす福山を見渡すと、取り組むべき課題を多く見つけることが出来ます。その多種多様な課題に対し、今を生きる私たちのやるべきことは、それぞれに具体的な実行プランを掲げ、行動に移すことです。

私たち一人ひとりが地域のリーダーとして当事者意識を持ち、それぞれの意志で課題解決に取り組んでいくことこそが持続可能な社会を創るのです。大いなる意志を指し示し、笑顔溢れる未来を創りあげてまいりましょう。

ビジョン策定

私たちは明るい豊かな社会の実現という理念のもと、行政や他団体と連携し、運動を展開してまいりました。福山城築城 400 周年を迎える 2022 年に主管する全国城下町シンポジウムと 2025 年に福山で開催することが決まった世界バラ会議においては、その招致段階から福山市とパートナーシップを組み、地域のより良い未来のために互いの強みを発揮してまいりました。福山が多様な意味での瀬戸内の中心となるべく運動を展開していくためには、関係各所へのアプローチ方法を確立することと、官民連携、他団体との協働の視点が必要不可欠です。行政、他団体との有機的なつながりを途切れさせることなく、十分

に活用し、関係性を進化させていきましょう。私たちが目指すべき明るい豊かな社会という理念は決して単年で到達出来るものではありません。組織としての明確なビジョンを持ち、会員全員が同じ方向を向き行動しなければ、目指すべき社会は実現されません。変化の激しい時代に柔軟に対応していくための中長期ビジョンを策定し、会員間の共通認識の基で明るい豊かな社会を追求してまいりましょう。

戦略的なブランディング

情報過多の現代社会では、情報の受け手が自分にとって価値ある情報を当たり前のように取捨選択します。私たちは、まず情報の発信先を明確に定めた上で、多様な発信手法の中から最適なものを選択し、ターゲットに向けて有益かつ価値ある情報を提供していく戦略的な広報活動を展開していかなければなりません。

また、地域により良い影響を与え、人々の意識と行動の変化を促していくためには、私たちの運動の成果や地域に資する活動の一端を積極的に発信し、（一社）福山青年会議所の社会的認知度と信用度、そして存在価値を高めていく必要があります。どれだけ素晴らしい事業を実施しても、より良い変化を生み出すことが出来なければ運動とは言えません。（一社）福山青年会議所が何を目的に、どのようなことを行う団体なのか。地域に正しく理解していただくべく、力を注いでまいりましょう。

日本青年会議所は、日本の民間団体として戦後最初に国際社会への復帰を果たしました。第二次世界大戦後の混乱を乗り越えて、明るい豊かな社会を自分たちの手で築き上げたいと立ちあがった青年達の志が世界を動かした瞬間でした。今では、毎年数多くの各種大会、会議、事業が開催されています。私たちには117の国と地域に広がるネットワークがあり、約16万人もの同志がいることを再認識させてくれるのも各種大会です。本年も各種大会に参加することにより、最新の学びを持ち帰ってまいりましょう。

（一社）福山青年会議所が未来を創る団体であり続けるためには、出向先での切磋琢磨を通じて、LOMに学びを持ち帰ってくれる出向者の存在を欠かすことは出来ません。本年も出向者を輩出し、支援していくことで、より多くの学びを（一社）福山青年会議所にもたらせてまいります。LOMを代表して出向される志高き多くの会員が、出向先で活動に邁進していただくためにも、敬意と感謝の念を持って寄り添い、その力を遺憾なく発揮出来る環境を整えてまいりましょう。

多様な人材開発

私たちの運動の推進力を高めていくためには、数の拡大、組織の活性化が必要不可欠です。そのための第一歩は私たちと一緒に運動を行う同志を募ることです。会員拡大活動を通して地域を想い、地域課題の解決に全身全霊で取り組むことの出来るリーダーの発掘に取り組んでまいりましょう。

新入会員が最大限の力を発揮出来るよう、60年の歴史を刻む(一社)福山青年会議所の考え方や、青年経済人としてのあるべき姿を学び、一人ひとりの個性を活かし規律の中で発揮される発想と行動こそが組織を前に進める原動力となります。多様な人財を入会に導き、組織の運動の推進力を飛躍的に発展させましょう。新たに加入した新入会員には、業種や経験、歩いてきた人生が全く異なる人財が多くいます。所属会員の在籍年数が短くなっている昨今において、特に20代の会員や女性会員は多様な価値をもたらさうる貴重な人財です。その多様性を組織に取り込み、個性の化学反応を推進させ、活かしていくことにより(一社)福山青年会議所の活性化へとつなげてまいりましょう。

あらたな人財の発掘、育成、そして彼らからの学びを吸収し、地域に志高き Jaycee を増やし、福山の発展へと寄与してまいりましょう。

「人間力」を高める

未曾有の危機や困難な状況に対応出来るリーダーは高い人間力を備えています。人間力を構成するのは、「知的能力」「対人関係力」「自己制御」の3つであり、この3つの要素をバランスよく高めることが必要です。1つ目の知的能力要素は、専門的な知識やノウハウを自ら継続的に高めていこうとする力であり、これらの力の応用が論理的思考や創造力につながります。2つ目の対人関係力要素はコミュニケーションスキルやリーダーシップ、公共心や規範意識のことを指し、他者と良好な関係を築き、円滑に物事を進めていくことにつながります。最後に、3つ目の自己制御的要素は、知的能力や対人関係力を高めるための「意欲や忍耐力」、「自分らしい生き方や成功を追究する力」のことです。また、状況を俯瞰し、冷静に最善策を選択していく力につながっています。

地域のリーダーたる私たちは、現状に満足することなく、向上心を持ってバランスよく人間力を高めていく必要があります。危機の時代に対応し、私たち自身が明るい豊かな未来を切り拓いていくべく、様々な成長の機会を提供してまいります。

青年会議所たる所以

私たちのアイデンティティである「会議」は、言うまでもなく、多く人財のもと、建設的な議論と闊達な意見交換がなされる機会です。また、例会や各会議が、運動の価値と効果を高めるために行われているか、常に検証し、進化させていく必要があります。

より力強くまっすぐに運動を推進するために、時代の流れや外的要因の変化に強い柔軟かつ効果的な会議システムを導入してまいります。そして、必要に応じて組織改革を行い、各会員が個性と能力を発揮し、組織の一体感を高められる盤石な組織運営を確立してまいりましょう。

終わりに

私が入会した当時、2011年度第66代JCI会頭を務められた原田憲太郎先輩からいただいたメッセージが今でも心に残っています。「世界中に友人がいたら、その友人のために本気で戦争を止めようと行動を起こしませんか。」私の行動の原点は、すべて相手の顔を思い浮かべ、当事者意識を持つことから始まっています。笑顔や希望は与えられるものではなく、自らの強い意志と行動によって得られるものです。

Where there's a will, there's a way.

意志あるところに道は拓ける

第16代アメリカ合衆国大統領エイブラハム・リンカーン

ひとはそれぞれ違う価値観を持って生きています。そして自然災害やウイルスの脅威と隣り合わせである今、勇気をもって既存の価値観を見つめ直し、柔軟かつ真摯に課題解決に取り組むことが求められています。多様性を認め合えるからこそ、イノベーションは生まれます。心に太陽をもち、前向きに。この福山を創るのは他でない私たちの意志です。私たちが変われば福山の未来は変わる。

あなたの「友人」のために。

あなたの「家族」のために。

私たちの「行動」で変えられる未来がある。

自らの意志にまっすぐに。

笑顔溢れる未来を築いてまいりましょう。